

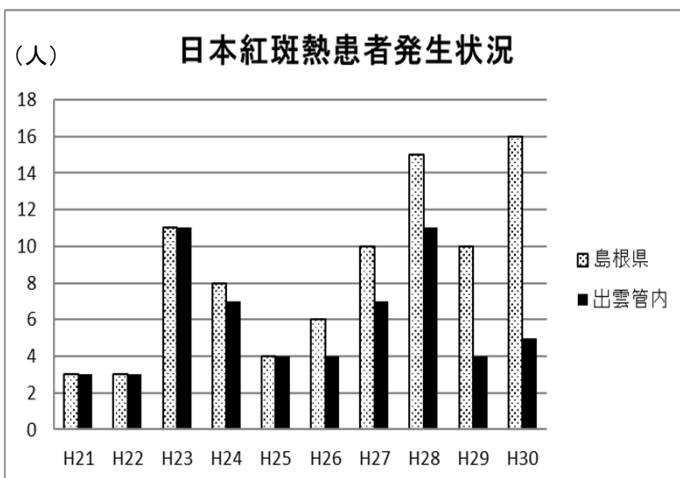
# 春～秋に多い 日本紅斑熱に注意しましょう！

野山や畑にいるマダニに咬まれることで感染する病気に日本紅斑熱があります。島根県では北山山系に発生が多いため、出雲市は感染者の多い地域です。マダニに咬まれることで感染する病気は、その他にもSFTS(重症熱性血小板減少症候群)などがあります。



マダニ(体長3～8mm)

## ●患者の発生状況



## ●症状



■日本紅斑熱の発疹  
馬場医院 馬場文彦氏 写真提供

マダニに咬まれてから2日～1週間くらいで症状が出ます。症状は、**発熱(高熱)**や**頭痛**、**関節痛**を伴い、**発疹**が認められます。重症化すると死亡することもあります。



■マダニ類の刺し口  
馬場医院 馬場文彦氏 写真提供

マダニの吸血した痕(刺し口)や、皮膚に咬みついて吸血しているマダニが見つかることもあります。

## ●感染予防のためには？

野山や畑、草むらへ出かけるとき、草取りをするときは次のことに気を付けましょう。

- ・肌を出さないように、長袖、長ズボンをはきましょう。
- ・虫よけスプレーを使用しましょう。
- ・地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりしないよう敷物をしましょう。
- ・帰った後はすぐに入浴し、体を良く洗い、新しい服に着替えましょう。



## ●マダニにかまれてしまったら・・・

- ・マダニが皮膚に咬みついて取れないときは、医療機関(皮膚科)で取ってもらいましょう。無理にとろうとするとマダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあります。
- ・マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意し、**発熱**、**発疹**、**食欲低下**、**嘔吐**、**下痢**等の症状があった場合には、早めに医療機関を受診しましょう。

お問い合わせ・ご相談

出雲保健所 衛生指導課(0853-21-1185)